



Welcome to
my life



Giving Currency to History

13歳ユダヤ人少女の日記をSNSで再現

Instagramで現代によみがえる「もう一つのアンネの日記」

人類史上最も凄惨な経験の一つ、ナチスドイツによるユダヤ人大虐殺。

その体験を語り継ぐ生存者たちは年々減り続けており、その記憶が薄れることが懸念されている。

そんな中、現代版『アンネの日記』ともいべきプロジェクトが進行中だ。

Instagramの動画機能で、アウシュビッツの犠牲となったある少女の日記が動画でよみがえる。

本誌ウェブサイトでは、ニュース映像の視聴やボキャビルの音声を聴くことができます。詳細は別冊付録の裏表紙をご覧ください。

**オーレン・リーバマン記者の
発音と話し方の特徴**

アメリカ英語

速さ:★★★★ 発音:★★★☆☆

語彙:★★★★ 総合:★★★★★

[★聞き取りやすい↔★★★★★難しい]

意識された滑舌^{かつぜつ}ながらも、ネイティブのナチュラルスピードは英語学習者にはかなりハード。人名などの固有名詞を除いても、ある程度の歴史的背景知識なしだと deported、patch などの表現の意味を推測するのも困難。

キーワード

ニュースを聴く前にチェックしておこう

- | | | |
|--|---------------|----------------------|
| <input type="checkbox"/> dwindling | [dwaɪndəlɪŋ] | 徐々に減少している |
| <input type="checkbox"/> deport | [dɪpɔ:t] | ～を強制移送する、国外追放する |
| <input type="checkbox"/> relevant | [rɪləvənt] | 今日的な意義のある、実際的な重要性をもつ |
| <input type="checkbox"/> reimagine | [ri:ɪmædʒɪn] | (芸術で)～を想像し直して演出する |
| <input type="checkbox"/> the brainchild of | [brɛɪntʃaɪld] | ～の発案物、考案物 |
| <input type="checkbox"/> be thrilled with | [θrɪld] | ～が大いに気に入る、～に感激する |
| <input type="checkbox"/> intent | [ɪntɛnt] | 意図、趣旨 |
| <input type="checkbox"/> shallow | [ʃeɪləʊ] | 浅薄な、浅はかな |
| <input type="checkbox"/> magnitude | [mæɡnətju:d] | 重大さ、重大性 |
| <input type="checkbox"/> entry | [ɛntri] | (日記などへの)(一回分の)書き込み |

▶今月号は、録音時間の関係でキーワードの音声をCDに収録していません。

音声はEEホームページからお聴きになれます。

<http://ee.asahipress.com/download/1909>

ナチス ヨブクシ
 (33) (38) ホロコーストの記憶を伝える新たな試み

More than 70 years after the Holocaust,¹ there are a dwindling few survivors to pass on their memories,² their stories commemorated in documentaries and museums/ amidst³ a fear their lessons are fading.//

“Hi! My name’s Eva.// That’s me!”// (Voice of “Eva” in Instagram video series “Eva Stories”)

Eva Heyman is the new face of those lessons.// The 13-year-old Hungarian Jew kept a diary/ in the last months before she was deported to Auschwitz in May, 1944,³ where she would die.//



アウシュビッツ(上)の犠牲者の1人、エバさんがポップな姿で現代によみがえる(左、右)

give currency to:
 《タイトル》～を現代によみがえらせる

the Holocaust:
 (ナチスによる)ユダヤ人大虐殺

dwindling:
 徐々に減少している

survivor:
 生存者、生き残った人

pass on:
 ～を伝える、伝達する

commemorate:
 ～を記憶すべきものとして後世に伝える、記念する

amidst:
 = amid ～の中で

fear (that):
 ～ではないかという恐れ

lesson:
 教訓、戒め

fade:
 薄れる、消えていく

face:
 代表者

Hungarian:
 ハンガリーの、ハンガリー人の

Jew:
 ユダヤ人、ユダヤ教徒

keep a diary:
 日記をつける

deport:
 ～を強制移送する、国外追放する

Auschwitz:
 =Auschwitz concentration camp アウシュビッツ強制収容所

ニュース1では、スラッシュリーディングおよびスラッシュリスニングの参考として、情報・意味のまとまりごとにスラッシュ(/)を入れています

ホロコーストから70年以上がたち/ その記憶を伝える数少ない生存者たちも、減り続けています。// 彼らの話はドキュメンタリーや博物館において後世に伝えられています/ その話の教訓が薄れゆく不安の中で。//

「こんにちは! 私の名前はエバ! // 今映っているのは私よ!」// (インスタグラムの動画シリーズ「エバの物語」の「エバ」の声)

エバ・ヘイマンはそうした教訓を伝える新たな顔です。// 13歳のハンガリー系ユダヤ人の彼女は日記をつけていました/ 1944年5月にアウシュビッツに強制移送されるまでの最後の数カ月間/ そこで彼女は亡くなることになります。//

理解のポイント

- ▶▶ ①は独立分詞構文の受動態。実質上の主語はtheir storiesである。commemoratedは過去分詞なので、ここは(and) their stories (are/have been) commemorated in documentaries and museumsと言い換えることができる。
- ▶▶ ②はa fear (that) their lessons are fadingと語を補って考えるとよい。
- ▶▶ ③では、過去から見た未来を表すためにwillの過去形wouldが用いられている。